

## 「視線が合いにくい」と思ったら？



### なぜなの？

- ・状況や相手の言葉の意味がわかりにくく、視線を向けられるとプレッシャーを感じ視線をそらしているのかも。(対応方法①)
- ・相手の気持ちや意図、相手との関係性がわかりにくい。(対応方法②)
- ・人や場所に慣れにくく不安に思う気持ちが強いの。(対応方法③)
- ・他に気になることに視線がいつってしまう(対応方法④)
- ・自分の気持ちや要求を伝える方法がわからない(対応方法⑤)

本人が興味を持っていることにはほとんど探求していける力を持っているかもしれません。  
一緒に楽しみながら応援したいですね！



### どうしたらいい？ (対応方法)

- ①子どもをよく観察して、子どもの興味や気持ちにそって、言葉をかけよう  
【言葉をかけるポイント】
  - ・言葉は「短く」「簡単に」！
  - ・見てわかるもの（ジェスチャー・物・絵・写真）も添えて！
- ②子どもの好きな遊びを通して、やりとりを楽しもう
- ③見通しが持てるように伝えてあげよう
- ④コミュニケーションをとる時は、気が散るものを少なくして、子どもの視界に入ってみよう。
- ⑤生活の中で、子どもの思いを代弁してみよう。

困ったり迷ったりしたら、いつでも相談してくださいね。

三原市こども安心課	電話0848-67-6061
本郷保健福祉センター	電話0848-86-3609
久井保健福祉センター	電話0847-32-8551
大和保健福祉センター	電話0847-34-0960

